

(別紙3)

## 講義及び演習を担当する講師の基準

### 1 共通事項

#### (1) 講師要件記号一覧

##### <講師の要件>

- ア 介護業務に5年以上従事している介護福祉士
- イ 訪問介護業務に5年以上従事している主任訪問介護員
- ウ 5年以上看護業務に従事し、かつ1年以上在宅サービスと連携をとって活動している看護師又は保健師
- エ ケアプラン作業業務に従事している介護支援専門員
- オ 医師
- カ 介助業務に5年以上従事している理学療法士
- キ 介助業務に5年以上従事している作業療法士
- ク 従事期間が5年以上の栄養士又は管理栄養士
- ケ 5年以上実務経験のある福祉用具専門相談員
- コ 5年以上実務経験のある福祉住環境コーディネーター
- サ 相談援助業務に5年以上従事している社会福祉士
- シ 相談援助業務に5年以上従事している精神保健福祉士
- ス 相談業務に5年以上従事している臨床心理の専門家
- セ 福祉系学校等で当該科目あるいは類似科目を教えている教員
- ソ 関連する領域の事務を担当している行政関係職員
- タ 社会福祉主事任用資格を有する高齢者福祉施設等生活相談員又は管理者等
- チ 社会福祉主事任用資格を有する障害者・児施設等生活相談員又は管理者等
- ツ 認知症介護指導員養成研修修了者

##### <補助講師の要件>

各項目の講師の要件欄に示す上記資格等を有し、3年以上の従事期間又は実務経験がある者とする。ただし、オ及びセについては従事期間等を問わない。

(2) カリキュラムごとの講師の要件

I 介護職員初任者研修

科目	項目	講師の要件
1. 職務の理解 (6時間)	(1) 多様なサービスの理解	ア、エ、サ、セ、ソ
	(2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解	ア、エ、サ、セ
2. 介護における 尊厳の保持・自立 支援 (9時間)	(1) 人権と尊厳を支える介護	ア、ウ、エ、オ、サ、セ
	(2) 自立に向けた介護	ア、ウ、エ、オ、サ、セ
3. 介護の基本 (6時間)	(1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携	ア、ウ、エ、サ、セ、ソ
	(2) 介護職の職業倫理	ア、ウ、エ、サ、セ、ソ
	(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント	ア、イ、ウ、エ、サ、セ
	(4) 介護職の安全	ア、ウ、エ、オ、セ
4. 介護・福祉サ ービスの理解と 医療との連携 (9時間)	(1) 介護保険制度	ア、ウ、エ、サ、セ、ソ、タ
	(2) 医療との連携とリハビリテーション	ア、イ、ウ、エ、オ、カ、キ、サ、セ
	(3) 障害者自立支援制度およびその他制度	ア、ウ、エ、サ、セ、ソ、チ
5. 介護における コミュニケーション 技術 (6時間)	(1) 介護におけるコミュニケーション	ア、エ、ウ、サ、シ、ス、セ
	(2) 介護におけるチームのコミュニケーション	ア、イ、ウ、エ、サ、シ、ス、セ
6. 老化の理解 (6時間)	(1) 老化に伴うこころとからだの変化と日常	ア、ウ、オ、サ、ス、セ
	(2) 高齢者と健康	ア、ウ、オ、セ
7. 認知症の理解 (6時間)	(1) 認知症を取り巻く状況	ア、ウ、エ、オ、サ、シ、セ、ツ
	(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	ア、ウ、オ、サ、セ、シ、ツ
	(3) 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	ア、ウ、エ、オ、サ、シ、セ、ツ
	(4) 家族への支援	ア、ウ、エ、オ、サ、シ、セ、ツ
8. 障害の理解 (3時間)	(1) 障害の基礎的理解	ア、ウ、オ、サ、シ、ス、セ
	(2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	ア、ウ、オ、サ、シ、ス、セ
	(3) 家族の心理、かかわり支援の理解	ア、ウ、オ、サ、シ、ス、セ

科目	項目	講師の要件
9. ころとから だのしくみと生 活支援技術 (75 時間)	I 基本知識の学習	
	(1) 介護の基本的な考え方	ア、ウ、サ、セ
	(2) 介護に関するころのしくみの基礎的理解	ア、ウ、サ、ス、セ
	(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	ア、ウ、カ、キ、セ
	II 生活支援技術の講義・演習	
	(4) 生活と家事	ア、イ、ウ、セ、
	(5) 快適な居住環境整備と介護	ア、イ、ウ、カ、キ、ケ、コ、セ
	(6) 整容に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	ア、イ、ウ、キ、セ
	(7) 移動・移乗に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	ア、イ、ウ、カ、キ、セ
	(8) 食事に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	ア、イ、ウ、ク、セ
	(9) 入浴、清潔保持に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	ア、イ、ウ、セ
	(10) 排泄に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	ア、イ、ウ、セ
	(11) 睡眠に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	ア、イ、ウ、オ、セ
	(12) 死にゆく人に関連したころとからだのしくみと終末期介護	ア、ウ、エ、オ、ス、セ
III 生活支援技術演習		
(13) 介護過程の基礎的理解	ア、イ、ウ、セ	
(14) 総合生活支援技術演習	ア、イ、ウ、セ	
10. 振り返り (4 時間)	(1) 振り返り	ア、ウ、エ、サ、セ
	(2) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	ア、ウ、エ、サ、セ
修了評価 (筆記試験)	(1 時間)	ア、ウ、セ

## II 生活援助従事者研修

科目	項目	講師の要件
1. 職務の理解 (2時間)	(1) 多様なサービスの理解	ア、エ、サ、セ、ソ
	(2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解	ア、エ、サ、セ
2. 介護における 尊厳の保持・自立 支援 (6時間)	(1) 人権と尊厳を支える介護	ア、ウ、エ、オ、サ、セ
	(2) 自立に向けた介護	ア、ウ、エ、オ、サ、セ
3. 介護の基本 (4時間)	(1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携	ア、ウ、エ、サ、セ、ソ
	(2) 介護職の職業倫理	ア、ウ、エ、サ、セ、ソ
	(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント	ア、イ、ウ、エ、サ、セ
	(4) 介護職の安全	ア、ウ、エ、オ、セ
4. 介護・福祉サ ービスの理解と 医療との連携 (3時間)	(1) 介護保険制度	ア、ウ、エ、サ、セ、ソ、タ
	(2) 医療との連携とリハビリテーション	ア、イ、ウ、エ、オ、カ、キ、サ、セ
	(3) 障害者自立支援制度およびその他制度	ア、ウ、エ、サ、セ、ソ、チ
5. 介護における コミュニケーション 技術 (6時間)	(1) 介護におけるコミュニケーション	ア、エ、ウ、サ、シ、ス、セ
	(2) 介護におけるチームのコミュニケーション	ア、イ、ウ、エ、サ、シ、ス、セ
6. 老化と認知症 の理解 (9時間)	(1) 老化に伴うこころとからだの変化と日常	ア、ウ、オ、サ、ス、セ
	(2) 高齢者と健康	ア、ウ、オ、セ
	(3) 認知症を取り巻く状況	ア、ウ、エ、オ、サ、シ、セ、ツ
	(4) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	ア、ウ、オ、サ、セ、シ、ツ
	(5) 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	ア、ウ、エ、オ、サ、シ、セ、ツ
	(6) 家族への支援	ア、ウ、エ、オ、サ、シ、セ、ツ
7. 障害の理解 (3時間)	(1) 障害の基礎的理解	ア、ウ、オ、サ、シ、ス、セ
	(2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	ア、ウ、オ、サ、シ、ス、セ
	(3) 家族の心理、かかわり支援の理解	ア、ウ、オ、サ、シ、ス、セ

科目	項目	講師の要件
8. ころとから だのしくみと生 活支援技術 (24 時間)	I 基本知識の学習	
	(1) 介護の基本的な考え方	ア、ウ、サ、セ
	(2) 介護に関するころのしくみの基礎的理解	ア、ウ、サ、ス、セ
	(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	ア、ウ、カ、キ、セ
	II 生活支援技術の学習	
	(4) 生活と家事	ア、イ、ウ、セ、
	(5) 快適な居住環境整備と介護	ア、イ、ウ、カ、キ、ケ、コ、セ
	(6) 移動・移乗に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	ア、イ、ウ、カ、キ、セ
	(7) 食事に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	ア、イ、ウ、ク、セ
	(8) 睡眠に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	ア、イ、ウ、オ、セ
(9) 死にゆく人に関連したころとからだのしくみと終末期介護	ア、ウ、エ、オ、ス、セ	
	III 生活支援技術演習	
	(10) 介護過程の基礎的理解	ア、イ、ウ、セ
9. 振り返り (2 時間)	(1) 振り返り	ア、ウ、エ、サ、セ
	(2) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	ア、ウ、エ、サ、セ
修了評価 (筆記試験)	(0.5 時間)	ア、ウ、セ